

治水·防災

- 破堤による被害の回避を究極的な目標とし、そのための施策に最優先で取り組む
- 狭窄部上流の浸水被害、琵琶湖沿岸の浸水被害等の軽減に向けた整備



それ以外の事業については、継続中のものであっても、堤防強化等の進捗等を勘案し、その実施時期の検討をする

(1) 破堤による被害の回避・軽減

- 1) 情報の提供、伝達システムの整備等
- 2) 被害ポテンシャル低減対策
- 3) 堤防強化対策

(2) 浸水被害の軽減

- 1) 狭窄部上流の浸水被害の解消
- 2) 琵琶湖沿岸の浸水被害の軽減
- 3) 無堤地区等の浸水被害の軽減

情報の提供

地下街での情報提供

【みちまちスクエアへの河川情報提供】



【マルチビジョンによる河川情報提供】



【インターネットでの情報提供】

被害ポテンシャルの低減対策



被害ポテンシャル低減対策

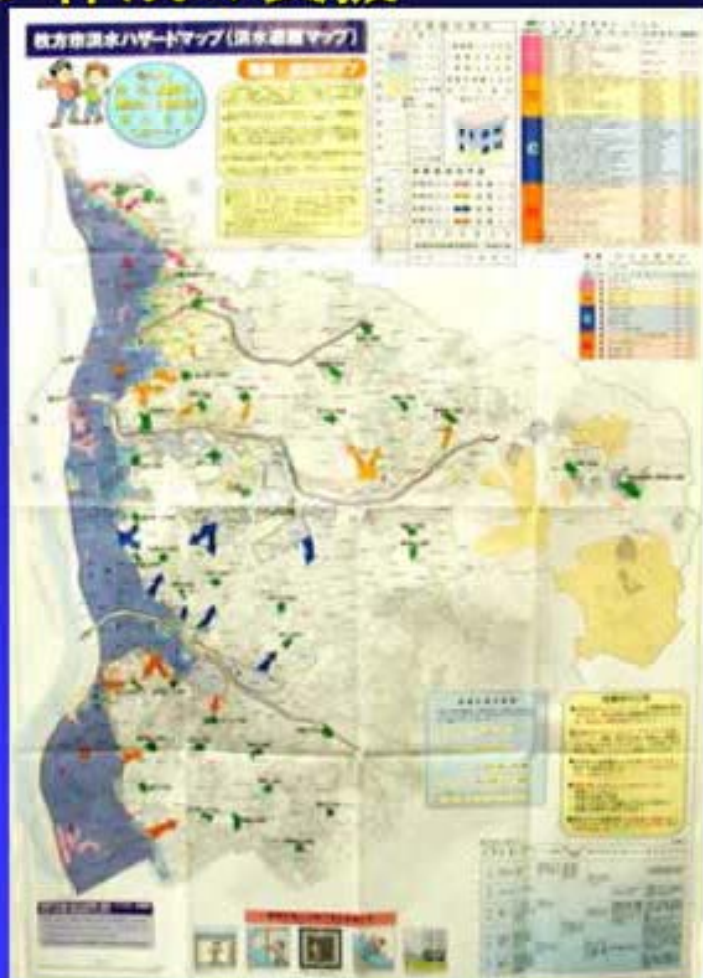
○沿川自治体より構成する「洪水被害ポテンシャル低減方策協議会(仮称)を設置し、関係機関並びに施設管理者や住民などが連携し被害ポテンシャルの軽減を図る

- ・避難誘導等
- ・土地利用誘導
- ・流域内保水機能、貯留機能強化

洪水ハザードマップ作成の支援

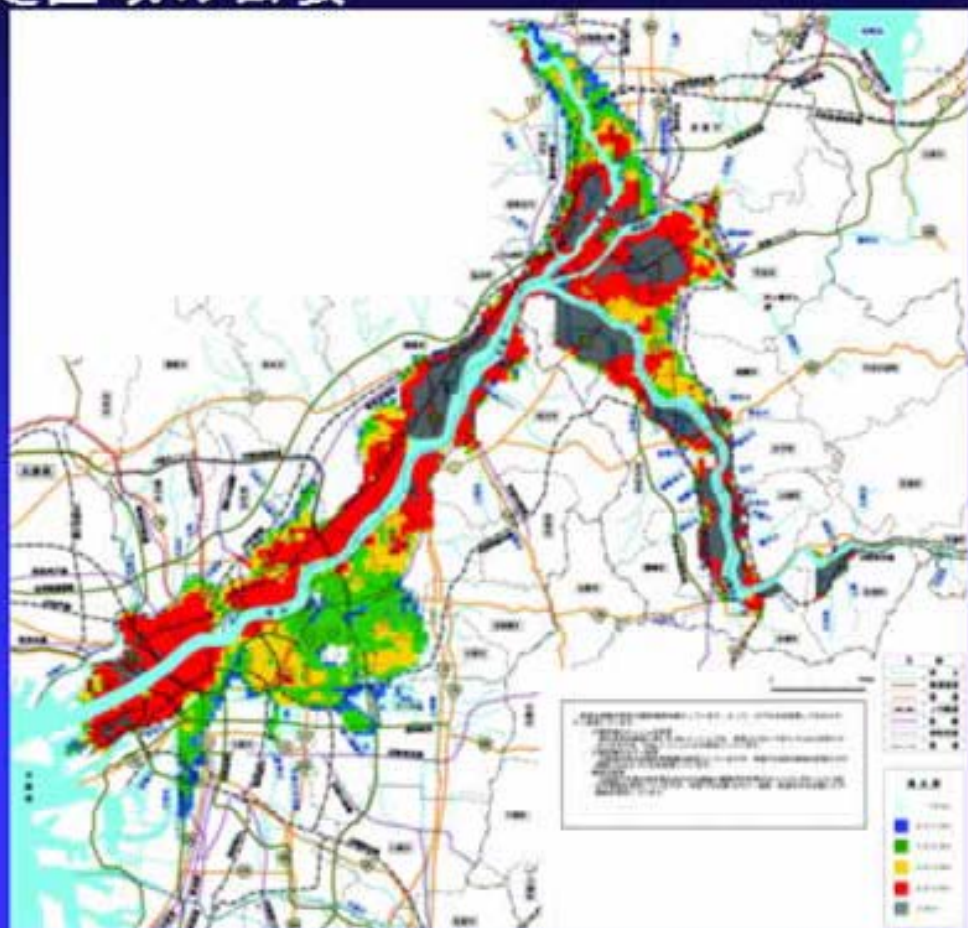
ハザードマップには、

- ・浸水想定
 - ・避難すべき地区
 - ・避難場所
 - ・その他(連絡先等)
- 等が記載されます。



被害ポテンシャル低減対策

○浸水想定区域の公表



被害ポテンシャル低減対策

○猪名川の例



校庭貯留

調整池

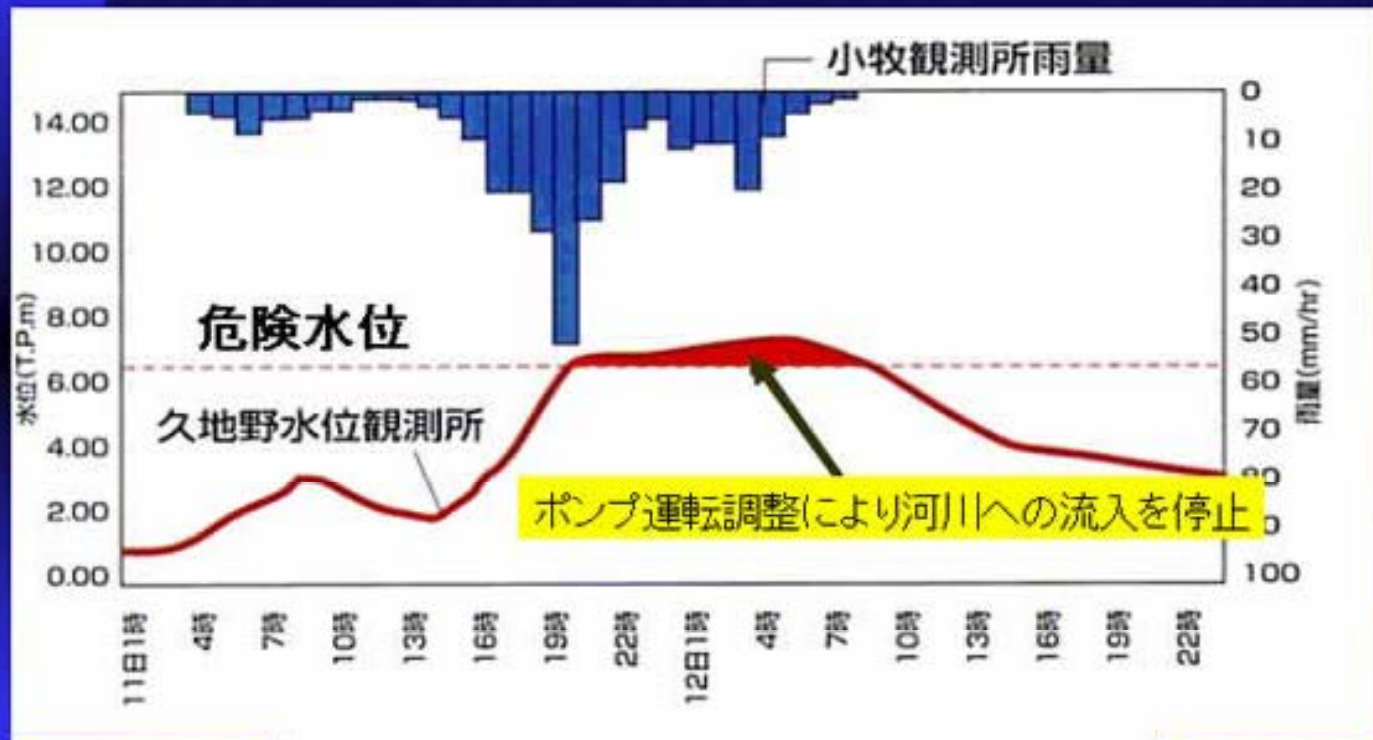


被害ポテンシャル低減対策

- 洪水時における排水機場運転調整

洪水時、下水等の内水排除による河川流量の増加抑制を図るため、関係機関等による協議会を設立し、災害の防止を図る

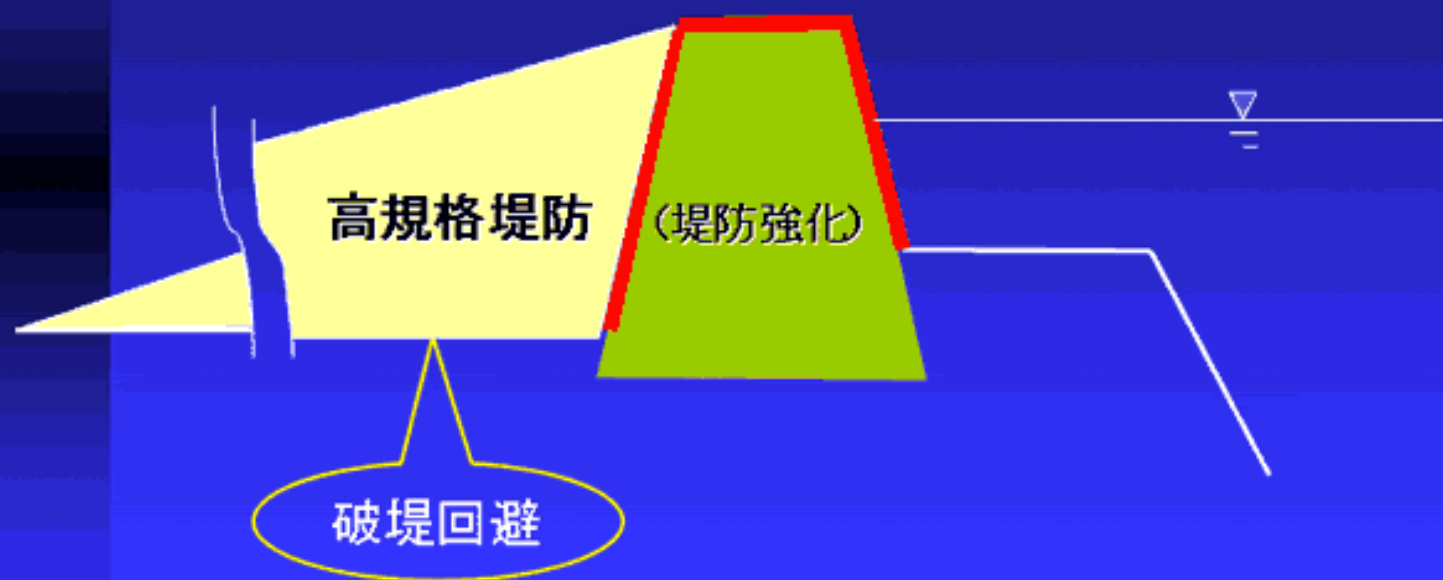
排水機場の運用



平成12年9月東海豪雨の事例

【第1稿 P20】

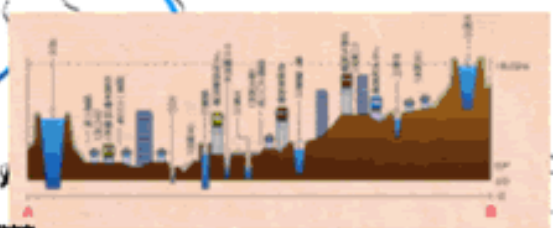
堤防強化対策



高規格堤防

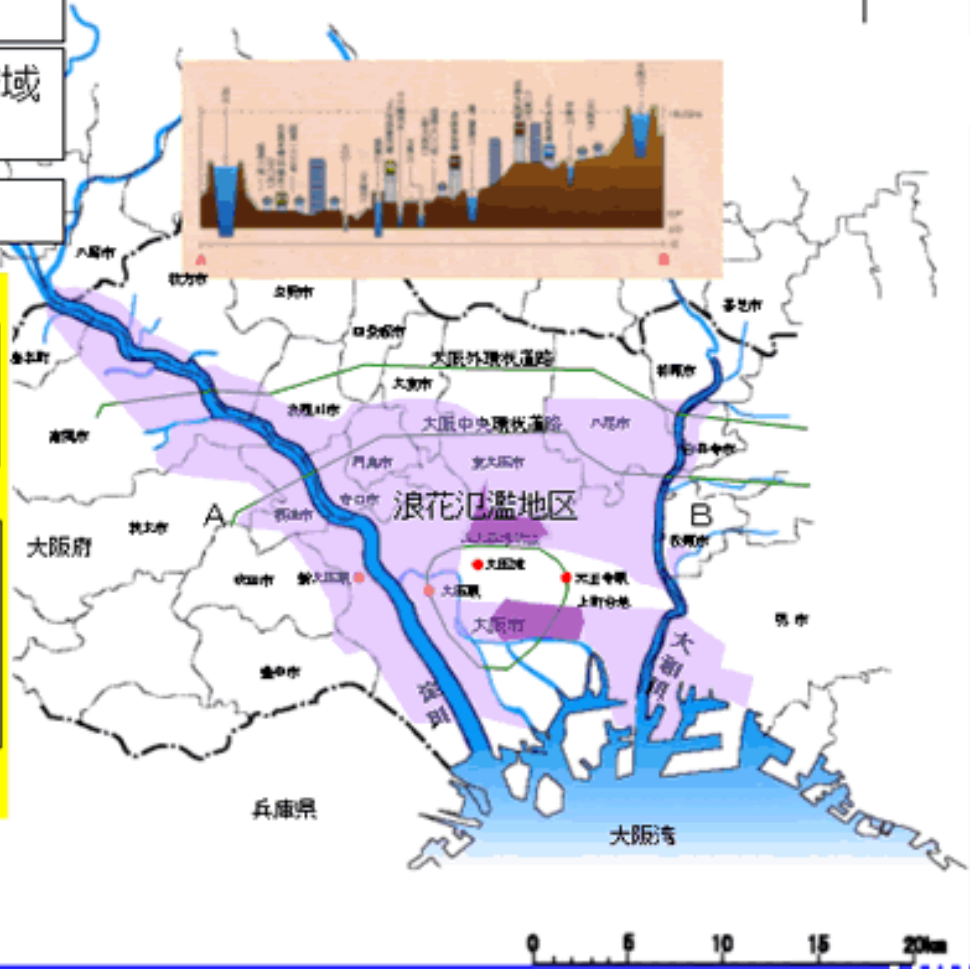
- 1 全区間高規格堤防化を実施するのが望ましい
- 2 現状整備対象区間は、大阪府域のみ
- 3 今後の高規格堤防化の方針

大阪中枢部の壊滅的被害の回避



① まちづくりと一体となった整備の調整が図られた箇所を実施

② 特に、人口と資産が集積する、淀川と大和川に挟まれた大阪(浪花氾濫地区)の中枢部の防御を重点的に実施



■ 優先順位

